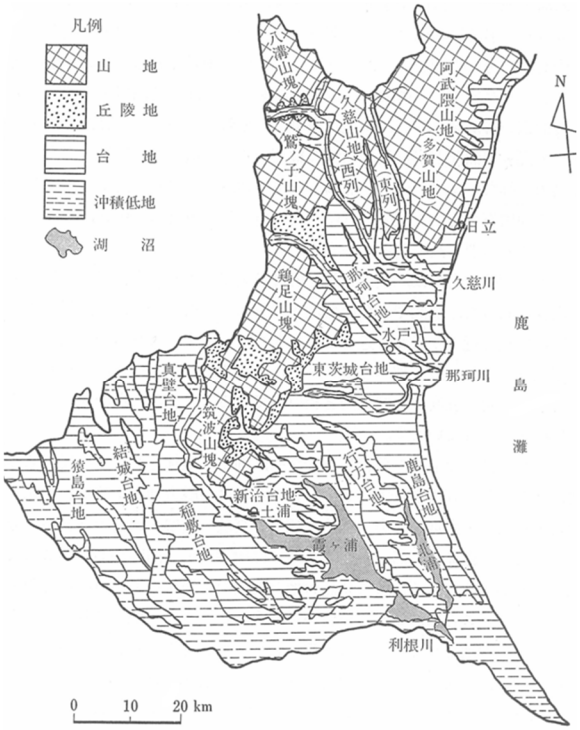
石岡市の地勢と気象



石岡市は、茨城県南部の県南地域に位置する。北は笠間市に、東は小美玉市に、南は土浦市とかすみがうら市に、西は桜川市とつくば市に接している。市の南東部に霞ヶ浦(西浦)があり、市の南部(かすみがうら市との境)を恋瀬川が、市の東部(小美玉市との境)を巴川が流れている。霞ケ浦(西浦)は、恋瀬川や桜川などが流入する一級河川(国管理)で、常陸利根川を経て神栖市で利根川と合流する。恋瀬川は、笠間市との境に位置する吾国山を水源とする一級河川(県管理)で、市の南東部で霞ヶ浦(西浦)に流入する。巴川は、笠間市の愛宕山山根下池を水源とする一級河川(県管理)で、鉾田市で北浦に流入する。

地形は、市の北部から西部(笠間市、桜川市、つくば市、土浦市、かすみがうら市との境)は山地(筑波山塊／八溝山地)が連る。山地の東側は丘陵地、内陸部は台地(石岡・新治台地)である。市の北部(笠間市との境)に難台山(標高 553m)や吾国山(標高 518m)が、市の北西部(桜川市との境)に筑波山(男体山:標高 871m、女体山:標高 877m)が、市の南部(桜川市、つくば市との境)には加波山(標高 709m)や燕山(標高 701m)などがある。

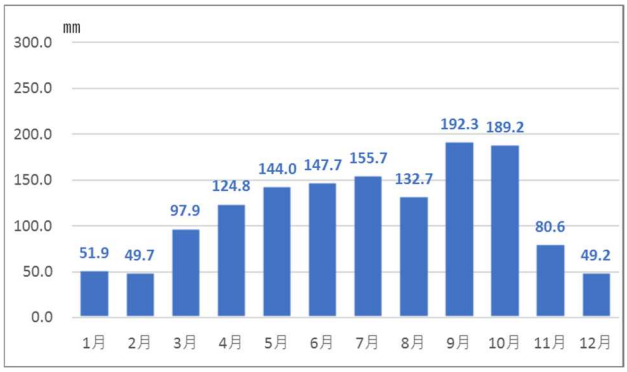


茨城県の地形区分(出典:茨城県　地学のガイド;1977, コロナ社)

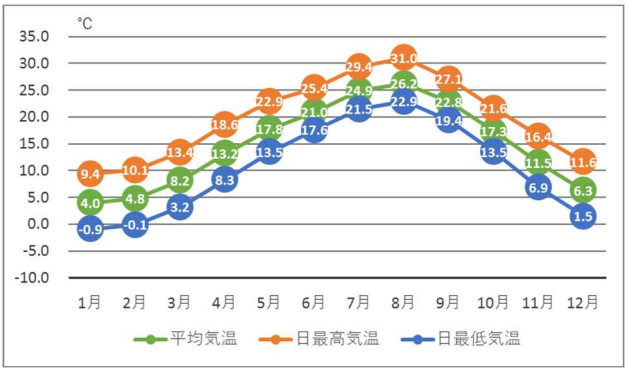
気候は、太平洋側気候で、内陸部では内陸気候の特徴を、山岳地域では山岳気候の特徴を併せ持つ。夏季は、太平洋高気圧から吹き出す南よりの風の影響で高温多湿となり雨も降りやすい。冬季は、乾いた北西の季節風が吹き、晴天の日が多く、降雪は少ない。内陸部では、気温変化が大きく乾燥しやすい。また、放射冷却が強く働きやすい。山岳地域では、複雑な地形の影響を受けるため、気候の地域差が著しい。

降水は、冬は少なく、春から夏にかけては梅雨前線の影響などで徐々に多くなり、秋は秋雨前線や台風の影響などで更に多くなる。年降水量の平年値(柿岡)は 1415.5 ㎜である。

気温は、夏に 35° C 以上の猛暑、冬に −5° C 以下となることもあるが、平年の気温(土浦)は、夏季の日最高気温 31.0℃、冬季の日最低気温が −0.9℃で、年平均気温は 14.8℃である。



柿岡の降水(月ごとの平年値)　1991 年～2020 年の統計値



土浦の気温(月ごとの平年値)　1991 年～2020 年の統計値

柿岡の平年値・極値はこちらから

https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php?prec_no=40&block_no=1012&year=&month=&day=&view=

土浦の極値・平年値はこちらから

https://www.data.jma.go.jp/stats/etrn/index.php?prec_no=40&block_no=0324&year=&month=&day=&view=